

最初の殉教者

シリーズ～続 福音の力～

2021/6/27

初代教会に起こった問題

- 不公平であるとの訴え
 - 「そのころ、弟子の数が増えてきて、ギリシア語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。それは、日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられていたからである。」6:1
- 選ばれた7人
 - 「兄弟たち、あなたがたの中から、“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選びなさい。彼らにその仕事を任せよう。」6:3
 - 「信仰と聖霊に満ちている人**ステファノ**と、ほかに**フィリポ**、**プロコロ**、**ニカノル**、**ティモン**、**パルメナ**、**アンティオキア出身の改宗者ニコラオ**を選んだ」6:5

使徒言行録6章8～15節

ステファノは恵みと力に満ち、すばらしい不思議な業とするしを民衆の間で行っていた。ところが、キレネとアレクサンドリアの出身者で、いわゆる「解放された奴隷の会堂」に属する人々、またキリキア州とアジア州出身の人々などのある者たちが立ち上がり、ステファノと議論した。しかし、彼が知恵と“霊”とによって語るのに、歯が立たなかった。そこで、彼らは人々を唆して、「わたしたちは、あの男がモーセと神を冒瀆する言葉を吐くのを聞いた」と言わせた。また、民衆、長老たち、律法学者たちを扇動して、ステファノを襲って捕らえ、最高法院に引いて行った。

使徒言行録6章8～15節

そして、偽証人を立てて、次のように訴えさせた。「この男は、この聖なる場所と律法をけなして、一向にやめようとしません。わたしたちは、彼がこう言っているのを聞いています。『あのナザレの人イエスは、この場所を破壊し、モーセが我々に伝えた慣習を変えるだろう。』」最高法院の席に着いていた者は皆、ステファノに注目したが、その顔はさながら天使の顔のように見えた。

捕らえられたステファノ

- 分配担当に選ばれたはずなのに！
 - 「ステファノは恵みと力に満ち、すばらしい不思議な業とするしを民衆の間で行っていた」
- 噛みついた人たち
 - かつてローマに連行され奴隷となったが、その後解放されたユダヤ人たち > 神殿への強い思い
 - 議論したが歯が立たなかった
- 嘘をついてステファノを捕らえ、訴えた
 - 『あのナザレの人イエスは、この場所を破壊し、モーセが我々に伝えた慣習を変えるだろう。』とステファノが言っていた > ある意味正しい

ステファノの演説(7:2~53)

- 最高法院での長い説教
 - 「その顔はさながら天使の顔のように見えた」
 - アブラハムからはじまってソロモンまでの歴史
- 2つのポイント
 - 主が立てられた器と民による拒絶
 - 主の住まいの変遷: 幕屋 > 神殿 > 人手によらない
- 厳しい糾弾
 - あなたがたも主に(聖霊に)逆らっている
 - あなた方も主の器を殺した
 - それこそ律法違反だ

使徒言行録 7章54～60節

人々はこれを聞いて激しく怒り、ステファノに向かって歯ぎしりした。ステファノは聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見て、「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」と言った。人々は大声で叫びながら耳を手でふさぎ、ステファノ目がけて一斉に襲いかかり、都の外に引きずり出して石を投げ始めた。証人たちは、自分の着ている物をサウロという若者の足もとに置いた。

使徒言行録 7章54～60節

人々が石を投げつけている間、ステファノは主に呼びかけて、「主イエスよ、わたしの霊をお受けください」と言った。それから、ひざまずいて、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と大声で叫んだ。ステファノはこう言って、眠りについた。

ステファノの殉教

- 怒り狂った最高法院の議員たち
 - ステファノの指摘が的を射ていたから
- 天を見上げるステファノ
 - 「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」>イエス様を神だと宣言している
- 襲いかかった暴徒たち
 - 「人々は大声で叫びながら耳を手でふさぎ、ステファノ目がけて一斉に襲いかかり、都の外に引きずり出して石を投げ始めた。」
 - 正しい手続きを経ないリンチ殺人！

イエス様のように

- 着物の番をしていたサウロ
 - 「証人たちは、自分の着ている物をサウロという若者の足もとに置いた。」
- 石に打たれながら主に呼びかけるステファノ
 - 「主イエスよ、わたしの霊をお受けください」
 - イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。ルカ23:46
 - 「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」
 - そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」23:34

福音の力

- 「不思議な業とするし」を行う力
 - イエス様の復活の“するし”である
- 人を恐れず証しする力
 - 「人間に従うよりも、神に従わなくてはなりません。」5:29
- 死を恐れない力
 - 死は復活の主に会うための通過点に過ぎない
- 人を赦す力
 - 私たちが十字架の死によって赦されたのだから